

ナンバリング		授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)		授業形式						
E111B006		教育制度・経営論 (Educational System and Administration)							対面						
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	主に使用する言語		その他に使用する言語		担当形態					
必修	2	3	教育学部	前期	火2	日本語				単独					
担当教員	氏名 住岡敏弘														
	E-mail sumioka@oita-u.ac.jp 内線 7532														
授業の概要	本講義では、現代の公教育制度の意義、原理、構造について、その法的・制度的仕組みに関する基礎的知識を身に付け、そこに内在する課題について理解するとともに、学校や教育行政機関が有するそれぞれの目的とその実現の方法について経営の観点から理解する。なお、この講義では、制度的・経営的観点から、学校と地域との連携の意義や地域との協働の方法について理解するとともに、学校保健安全法に基づく危機管理を含む学校安全の目的と具体的取り組みについても理解を深める。														
具体的な到達目標							DP等の対応(別表参照)	1	2	3	4	5	6	7	
目標1	現代の学校教育に関する制度的ならびに経営的事項に関して基礎的な知識を身に付けるとともに、それらに関連する課題につい							○	○	○	○	○	○		
目標2	教育に関する制度的、経営的事項との関連のなかで、学校と地域との連携に関する理解を深めるとともに、学校安全への対応に							○	○	○	○	○	○		
目標3															
目標4															
目標5															
目標6															
目標7															
目標8															
目標9															
目標10															
各DPへの関連度(計10)								2	2	2	2	1	1		
授業の内容															
1 公教育の原理と理念															
2 公教育制度を構成する教育法規(1)憲法と教育法制度の根本原理															
3 公教育制度を構成する教育法規(2)教育基本法と教育法規の体系と区分															
4 教育行政制度の理念と仕組み(1)国の教育行政制度の理念と仕組み															
5 教育行政制度の理念と仕組み(2)地方の教育行政制度の理念と仕組み・国と地方の相互関係															
6 教育行政制度の理念と仕組み(3)教員給与制度と教育財政制度															
7 現代の教育制度の特色と課題															
8 公教育の目的を達成するための学校経営															
9 学校経営過程と学校評価の仕組み															
10 学級経営の職務と方法															
11 「チーム学校」と教職員間・学校外の関係者/関係機関との連携・協働															
12 「開かれた学校づくり」の推進の経緯と必要性															
13 コミュニティスクールと地域との連携・協働															
14 学校の危機管理と学校安全の必要性と学校保健安全法															
15 「第3次学校安全の推進に関する計画」と学校安全計画に基づく取り組み															
ラーニングコンテキスト	A:知識の定着・確認		○	学校経営や教育制度をめぐる課題についてグループワークを行う。				工夫その他の							
	B:意見の表現・交換		○												
	C:応用志向		○												
	D:知識の活用・創造		○												
授業時間外学修の内容と想定時間	準備学修		・各回の講義テーマに関する事例について、文献や記事等を調べる(20h)												
	事後学修		・講義内容を振り返り、学習内容の整理を行う。(25h)												
	想定時間合計		45												
教科書	教科書は指定しない。必要な資料については、講義内で配布する。														
参考書	参考書は講義内で紹介する。														

成績評価の方法及び評価割合	評価方法		割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	講義内の課題への取り組み		10%	○	○								
	中間レポート		30%	○	○								
	期末試験		60%	○	○								
注意事項	新聞やメディアで報じられる教育改革の話題に日ごろから注意しておくこと。												
備考													
リンク													
	URL												